

睦月島

MUZUKIJIMA

島へ渡るには…

三津浜港・高浜港・
松山観光港から睦月港まで
フェリーで約45分
(高速船で約20分)

※車両乗降は三津浜港のみ可能
※高速船の乗降は高浜港のみ可能
※フェリーの所要時間は目安なので、
詳しくはP34の時刻表をご確認ください



かつて栄えた行商の 面影残す新しい風が吹く島

中島と野忽那島の間にある島。明治時代頃から戦後にかけて、全国に伊予餅などを売り歩く「餅売り(しまうり)」が増え「行商の島」として栄えた。今もその歴史の名残を感じる立派な長屋門が立ち並んでいる。睦月島に移住してきた人たちが、漁業や飲食店を営んでおり、高齢化の進む島に新しい風を起こしている。



MUZUKIJIMA PLAY



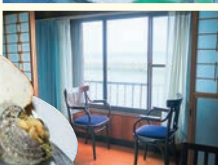
思うままに歩きたい、路地探検を楽しむ

島にある二つの山を8の字に回る農道、通称「睦月スカイライン」は、舗装されたゆるやかな道で、ハイキングにぴったり。
途中のビュースポットや道端のお地蔵様に癒されながら楽しく歩こう。

睦翔丸 むつしょうまる

島で獲れた新鮮な魚介のコース料理を堪能できる。煮付けからパスタまで和食・洋食幅広く対応できるのも魅力。3名より要予約。

◎ 松山市睦月甲2193-15
☎ 090-4333-4722
◎ 不定期営業のため要確認



MODEL COURSE モデルコース

1 10:10 三津浜港発
(フェリー)
10:55 睦月港着

2 11:00 睦翔丸で食事

約2時間30分

3 13:30 ウォーキング

散策 約1時間10分

4 14:48 睦月港発
(フェリー)
15:32 三津浜港着

気軽に
行けるね



三輪田米山注連石 みわだべいざんしめいし



◎ 松山市睦月 ◎ 見学自由

三輪田米山の書がある当田八幡神社の注連石。「慈悲為善(じじぜんをなす)」は、高い目標を持って努力しなさいという意味である。

夫婦楠 めおとくす



◎ 松山市睦月1181(玉善寺) ◎ 見学自由

周囲約7m樹齢300年以上とされる楠の木で、松山市指定天然記念物である。幹が二股になっており、夫婦の仲睦まじい姿を連想させる。

当田八幡神社 とうだはちまんじんじや



◎ 松山市睦月甲1305 ◎ 参拝自由

応神天皇や神功皇后などを祀る創立約1100年の歴史ある神社。石段下部には、陸軍大将・乃木希典によって書かれた日露戦役記念碑がある。

長屋門 ながやもん



◎ 松山市睦月 ◎ 見学自由

明治時代から戦後にかけて、伊予餅などを売り歩いた行商達の面影を残す。長屋門は部屋や倉庫も兼ね、台風の被害を防ぐ役目もあった。

野忽那島

NOGUTSUNAJIMA

島へ渡るには…

三津浜港・高浜港・
松山観光港から野忽那港まで
フェリーで約1時間
(高速船で約30分)

※車両乗降は三津浜港のみ可能
※高速船の乗降は高浜港のみ可能
※フェリーの所要時間は目安なので、
詳しくはP34の時刻表をご確認ください

ふるさとを想う ふるさとを感じる島

忽那七島の一番東に位置する島で、南部はオイラン山を頂点に丘陵が続く。安和年間(968～970年)に北条から人が来て住み始めたといえられている。標高約71mの皿山にある展望台からの眺めは絶景で、映画のロケ地にもなった。また、空気の澄んでいる時には、遠くにしなみ海道の鉄橋を眺めることができる。



西洋文化の息吹を感じる 灯台の島

高浜港の西約5kmに浮かぶ、しずくのような形の島。江戸時代には松山藩の放牧場で、江戸末期に興居島から人が移り住んだことにより集落が形成された。美しい海と日本で最も古い灯台の一つ「釣島灯台」が見どころ。また、興居島と釣島の間を通る釣島水道は、潮が速く好漁場となっていて、多くの釣人が訪れる。



釣島

TURUSHIMA

島へ渡るには…

三津浜港・高浜港から
釣島港まで
フェリーで約30分

※車両乗降は三津浜港のみ可能
※高速船は寄港しません
※フェリーの所要時間は目安なので、
詳しくはP34の時刻表をご確認ください



皿山
さらやま



映画『船を降りたら彼女の島』のロケ地。遊歩道には登場人物の名前が付けられ、展望台からは美しい瀬戸内の風景が360度見渡せる。

◎ 松山市野忽那 ◎ 散策自由



アカバ海水浴場
ぬかばかいすいよくじょう



美しい砂浜が広がる浜辺からは、高縄山や沖を往来する船々を臨む。プライベートビーチのようにゆったりとした時間を過ごそう。

◎ 松山市野忽那 ◎ 散策自由



宇佐八幡神社
うさはちまんじんじや



承応年間に藤原親賢の一族、十郎武者所兼平の末孫の忽那次郎左衛門尉通頼が武運長久国家平安祈願のため創祀したと伝えられる。

◎ 松山市野忽那2 ◎ 参拝自由



明治6年に建築



釣島灯台
つるしまどうだい

英国人技師による設計で明治6年(1873)に建築された石造りの灯台。今も現役で海の安全を守る。当時の姿を保つ希少価値の高い建造物だ。

◎ 松山市泊町1433-1
☎ 089-951-0553(松山海上保安部交通課)
◎ 周辺の見学自由



釣島灯台旧官舎
つるしまどうだいきゅうかんしゃ

洋式建築の松山市指定有形文化財で、暖炉や輸入ガラスなど明治初期からの姿を保つ貴重な建築物。内部公開時は市広報で募集している。

◎ 松山市泊町1433-2
☎ 089-948-6603(松山市文化財課)
◎ 周辺の見学自由

安居島

AIJIMA

島へ渡るには…

北条港から安居島港まで
フェリーで約35分

※車両は乗船不可
※フェリーの所要時間は目安なので、
詳しくはP33の時刻表をご確認ください

静かで穏やかな空気に 包まれる癒しの島

北条港の北西13.5km、忽那諸島で最も人口が少ない島。江戸中期頃まで無人島だったが文化14年(1817)に大内金左衛門ら開拓者が入植した。様々な船舶が立ち寄るようになり、北条から人々が移り住み、昭和5年(1930)には590人もの人が住んでいた歴史がある。島内は一周歩いて回ることができ、島全体が優しくも温かい空気に包まれている。



安居島灯台 あいじまとうだい



島の東部に建つ現役の灯台。灯台までの道は歩きやすく軽い運動になる。春には付近で花見も楽しめるが、蜂や虻には注意しよう。

◎ 松山市安居島
◎ 周辺の見学自由

天満神社 (天神社) てんまんじんじや(てんじんじや)



島の氏神様、菅原道真を祀る神社。参道を登ると古い遊具が残る旧安居島小学校の運動場があり、奥の石段をさらに上ると社がある。

◎ 松山市安居島甲72
◎ 参拝自由

ひじき



島民が協力しながら手作業で丁寧な収穫、加工する島の特産品。量産はできないものの、その品質の高さからプロの料理人にも使用される。

特産品のひじき！



島の旬を 味わおう

Let's enjoy the season of the island

島の恵みがたっぷり詰まった
旬の味覚を味わってみて。



紅まどんな

◎ 11月下旬～12月

愛媛県内でのみ生産されているオリジナルブランドで、お歳暮商材として人気が高い。ジュシーでとろけるような食感の果肉はまるでゼリーのよう。皮が薄いので、皮ごとカットして食べる。



せとか

◎ 2月～3月

清見など3品種を掛け合わせ、それぞれの柑橘の良いとこどりで生まれた品種。酸味と甘みがマッチした、とても上品なおいしさが特長。皮は薄くやわらかいので、手で簡単にむける。忽那諸島が日本一の生産量を誇る。



カラマンダリン

◎ 4月～5月

花と実が同時期に見ることができ、珍しい品種。ほどよい酸味とジュシーで濃厚な甘みの果汁が特長。内皮がとても薄く、口の中に残らずおいしく食べられる。中島地域が日本一の生産量を誇る。



温州みかん

◎ 9月下旬～12月

一般的によく食べられている柑橘。極早生(ごくわせ)・早生(わせ)・中生(なかく)・晩生(おくて)と、収穫時期によって、糖度や酸味の異なる様々な種類が栽培されている。



びわ

◎ 6月 (産地) 興居島

島に初夏の訪れを感じさせてくれる果物。太陽の光をたくさん浴びて育ったびわは、濃いオレンジ色の皮で、果肉は甘くてみずみずしさがある。



べにふうき茶

◎ 5月(一番茶)、7月(二番茶)、9月(三番茶) (産地) 中島

日本茶葉の中で、アレルギーに効果的とされるメチル化カテキンを最も多く含んでいる品種。緑茶のほか、紅茶にも加工されている。(アレルギー対策には緑茶が◎)



玉ねぎ

◎ 1月～3月 (産地) 津和地島

早い時期に収穫することができる津和地の玉ねぎは、玉ねぎとは思えないほどの甘みと、冬の間に蓄えられた水分がたっぷり。生でも水にさらさずそのままおいしく食べることができ、焼くとも甘さが増しトロトロに。



ひじき

◎ 1月～5月

忽那諸島のひじきは、食味がよく人気が高い。早い時期に収穫され、茎が細く柔らかく、食べやすいのが特長。収穫後、海苔でそのまま干す方法と、釜茹でして干す方法があり、加工の仕方によって食感が異なる。